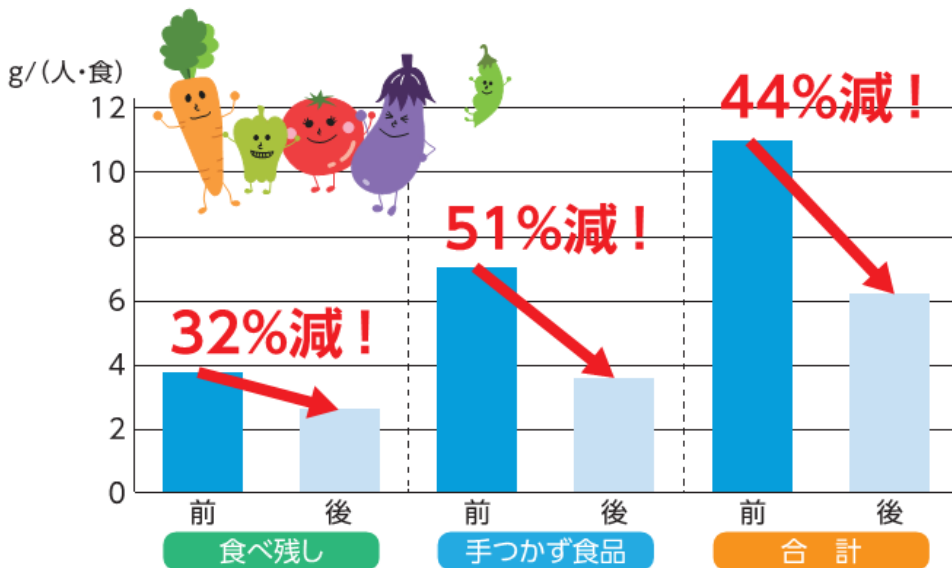


分類 番号	A19	取組 名称	食品ロス削減に向けた社会実験研究 -精華町の実態を踏まえた効果的な施策に向けて
研究代表者所属・職名：		生命環境科学研究科・教授	氏名： 山川 肇
研究担当者： 外部分担者・協力者（澤田和郊氏、城洋介氏 ほか）			
主な連携機関（所在市町村、機関（部署）名） 京都府相楽郡精華町 環境推進課			
【研究活動の要約】			
<p>現在、世界全体で生産される食品の約 1 / 3 が無駄になっており、大きな問題になっています。もともと食べられるのに捨てられた食品のことを食品ロスといいます。日本でも毎年約 600 万トンの食品ロスが発生しており、しかもその約半分は家庭で発生しています。</p> <p>この研究は精華町の食品ロスを減らして、精華町のごみ問題と世界の食品ロス問題の解決に貢献するを目指しています。3 年計画の 2 年目である平成 30 年度は、食品ロス日記調査により発生状況と原因を調べた上で、重要だと考えられる食品ロス削減行動を抽出し、それらの実践をお願いすることでどの程度食品ロスを削減できるかを調べました。また食べる予定のない食べられる食品を寄付して必要とする人に届けるフードドライブ活動の精華町での実施可能性を調査しました。事業者から出る食品ロスについては、京都生協様の協力を得て、おつとめ品など販売期限の近い商品の販売促進実験を行い、その食品ロス削減効果を調べました。</p>			
【研究活動の成果】			
<p>食品ロス日記式調査から、廃棄量が多い野菜・果物類は保管が悪い等により時間が経ち傷んでしまっただけで廃棄されるものが多く、加工食品や菓子類などは忘れられていて捨てられるものが多いことがわかりました。そこで冷蔵庫等の在庫食品の廃棄を減らす 3 つの行動を提案、実践していただいたところ、手つかず食品の約 5 割、食品ロス全体で 4 割強が削減できました（「参考」のグラフ参照）。今後はこうした行動を普及するためのプログラムを検討・実験していく予定です。</p> <p>またフードドライブ調査では 200kg 弱と多くの食品の寄付があり、アンケートでも活動の評価は高く、今後の実施可能性が示唆されました。ただし寄付いただいた方のうち 4 割弱の方は食べる見込みがある食品を寄付しておられ、環境面の動機だけでなく、福祉面の動機も大きかったのではないかと考えられました。そのため、今後、福祉関係者との連携のあり方を検討する必要があると考えています。</p> <p>一方、京都生協コープ祝園駅店で、おつとめ品等の販売促進実験を行った結果、青果物では効果が見られなかったものの、総菜・ベーカリーでは食品ロス削減効果が見られ、その有効性が確認できました。今後、さらに他の事業者でも削減取組みを実験し、町の事業系食品ロス削減施策を検討する予定です。</p>			
【研究成果の還元】			
<p>平成 29・30 年度の成果をパンフレットにまとめ、令和元年度の研究の一環として、精華町の住民の皆様にご紹介する予定です。その一部を「参考」に掲載しています。</p> <p>また精華町環境ネットワーク会議主催の住民向け講演会(H31.1.20)や精華町議会民生環境常任委員会での講演(H30.7.12)の中で地元の皆様にご紹介するとともに、府大主催の ACTR ポケットセミナー(H30.10.11)でも平成 29 年度の成果を報告しました。平成 30 年に実施した社会実験は町民の皆様にご紹介する機会にもなっています。さらに今後、施策形成に向けて活用される予定です。</p>			
【お問い合わせ先】			
生命環境科学研究科 循環型社会論研究室 教授 山川 肇 Tel: 075-703-5431 E-mail: yamakawa@kpu.ac.jp			

食品ロスの削減に取り組んでいただいた結果… およそ半減に成功!

取り組み前後の1人1食あたりの食品ロス重量



食品ロス日記式調査では、忘れていたり、保管が悪くて傷んだため、手つかずで捨てられる野菜が多いこと、調理品や加工品についても、冷蔵庫や冷凍庫にあることを忘れていて、捨てられるものが多いことがわかりました。

そこで、削減実験では、手つかず食品の削減を目指して、参加者の皆さんに、右の3つの取り組みを2週間、お願いしました。

その結果、上のグラフのとおり、食品ロスが約半減するという、大きな成果がありました。

取り組みをお願いしたこと

- 1 献立をたてる際は、早く使った方がよい在庫の食品(食材や残りもの)を優先的に使う



- 2 買い物へ行く前に、在庫を確認し必要な食材をメモに書き出す



- 3 冷蔵庫内を整理し、食品が確認できるようなスペースを作っておく

平成 30 年度 ACTR